



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 田谷

コード番号 4679 URL <http://www.taya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田谷 和正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 兼 執行役員経営企画推進室長 (氏名) 田代 久士

TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,873	1.1	△187	—	△190	—	△203	—
27年3月期第1四半期	2,841	△3.4	△232	—	△239	—	△178	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△40.64	—
27年3月期第1四半期	△35.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	7,163	2,755	38.5	551.41
27年3月期	7,228	2,958	40.9	592.05

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 2,755百万円 27年3月期 2,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案し決定してまいります。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,940	3.0	△42	—	△45	—	△83	—	△16.61
通期	12,300	4.6	215	—	213	—	100	—	20.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	5,100,000 株	27年3月期	5,100,000 株
28年3月期1Q	102,936 株	27年3月期	102,936 株
28年3月期1Q	4,997,064 株	27年3月期1Q	4,997,105 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策の効果を背景に企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、円安による物価上昇などで個人消費は回復までに至っておらず、海外景気の下振れリスクもあり、先行きは不透明な状況となっております。

美容業界におきましては、物価高に伴う消費マインドの停滞や、美容業界の店舗間競争の激化、また人口動態の影響による美容師確保難など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては『お客様が毎日どこでも綺麗でいていただける』ために、全社員が行動し、「すべてはお客様のために」という当社経営の原点を徹底することで、「失客をなくし増客を計り」、お客様に喜んでいただくサロンづくりを目指し、当社の持つ「お客様に対する特典」をすべてのお客様にお伝えしご利用を促し、また当社オリジナルの商品・サービス等の提供に努めてまいりました。

店舗につきましては、美容室1店舗(TAYA 神戸元町店)を新規出店いたしました。一方で美容室5店舗(TAYA 神戸店、TAYA 広島ACCES店、TAYA 丸井吉祥寺店、Shampoo 鶴見店、クレージュ・サロン・ボーテ 松戸店)を閉鎖し、当第1四半期会計期間末の店舗数は、美容室145店舗と小売店1店舗となりました。

また、人材確保のため、4月には252名の新卒者が入社いたしました。以上の結果、当社の第1四半期累計期間の業績は、売上高2,873百万円(前年同期比1.1%増)となり、営業損失187百万円(前年同期は営業損失232百万円)、経常損失190百万円(前年同期は経常損失239百万円)となり、四半期純損失は203百万円(前年同期は四半期純損失178百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は7,163百万円となり、前事業年度末と比べて64百万円減少いたしました。

流動資産の残高は2,328百万円となり、前事業年度末と比べて36百万円減少いたしました。固定資産の残高は4,835百万円となり、前事業年度末と比べて28百万円減少いたしました。主な増加は、現金及び預金の増加193百万円、主な減少は、有価証券の償還による減少100百万円、売掛金の減少49百万円、店舗閉鎖及び減価償却による建物の純減31百万円であります。

当第1四半期会計期間末の負債総額は4,408百万円となり、前事業年度末と比べて138百万円増加いたしました。

流動負債の残高は2,662百万円となり、前事業年度末と比べて411百万円増加いたしました。固定負債の残高は1,746百万円となり、前事業年度末と比べて273百万円減少いたしました。主な増加は、長短借入金の純増344百万円、主な減少は、賞与引当金の減少106百万円、未払法人税等の減少50百万円であります。

当第1四半期会計期間末の純資産は2,755百万円となり、前事業年度末と比べて203百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末40.9%から38.5%に減少いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、平成28年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成27年4月30日公表の平成27年3月期決算短信の予想数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はございません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はございません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,397,762	1,591,311
売掛金	524,834	475,670
有価証券	100,000	—
商品	63,042	66,950
美容材料	24,910	28,584
その他	255,139	166,849
貸倒引当金	△745	△745
流動資産合計	2,364,944	2,328,621
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,420,710	1,389,134
土地	1,375,445	1,375,445
その他(純額)	34,261	43,235
有形固定資産合計	2,830,417	2,807,815
無形固定資産	40,700	39,059
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,949,544	1,947,869
その他	43,033	40,277
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,992,574	1,988,144
固定資産合計	4,863,692	4,835,019
資産合計	7,228,637	7,163,640

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,199	457,029
短期借入金	86,800	239,000
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	386,577	729,763
未払法人税等	79,092	28,786
賞与引当金	204,996	98,623
資産除去債務	17,832	4,258
その他	921,947	1,034,654
流動負債合計	2,250,445	2,662,116
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	1,125,138	974,616
退職給付引当金	382,718	384,925
資産除去債務	205,201	205,386
その他	246,643	121,166
固定負債合計	2,019,701	1,746,095
負債合計	4,270,147	4,408,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	△64,445	△267,506
自己株式	△159,489	△159,489
株主資本合計	2,958,489	2,755,428
純資産合計	2,958,489	2,755,428
負債純資産合計	7,228,637	7,163,640

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,841,720	2,873,966
売上原価	2,692,063	2,684,294
売上総利益	149,657	189,671
販売費及び一般管理費	382,376	376,913
営業損失(△)	△232,719	△187,241
営業外収益		
受取利息	656	121
不動産賃貸料	3,755	3,383
その他	2,175	3,217
営業外収益合計	6,587	6,723
営業外費用		
支払利息	6,547	5,113
不動産賃貸費用	3,646	3,542
その他	2,691	1,464
営業外費用合計	12,885	10,119
経常損失(△)	△239,016	△190,637
税引前四半期純損失(△)	△239,016	△190,637
法人税、住民税及び事業税	15,276	15,335
法人税等調整額	△75,403	△2,912
法人税等合計	△60,126	12,423
四半期純損失(△)	△178,890	△203,061

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。